

再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道4号 白河 ^{しらかわ} 拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県西白河郡西郷村字原中 至：福島県白河 ^{しらかわ} 市薄葉 ^{うすば}	延長	5.2 km		
事業概要	<p>白河^{しらかわ}拡幅は、福島県西白河郡西郷村字原中^{にししらかわにしごうあざはらなか}～白河^{しらかわ}市薄葉^{うすば}間に計画された延長5.2 kmの拡幅事業である。当該道路の整備により、国道4号における交通混雑の解消、安全な交通の確保、救急医療サービスの向上等に寄与するものである。</p>				
S48年度事業化	H11年度都市計画決定	S49年度用地着手	S60年度工事着手		
全体事業費	148億円	事業進捗率	74%	供用済延長	3.6 km
計画交通量	31,600台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.6 (残事業) 4.2	(残事業)/ (事業全体) 35億円/234億円 事業費：32億円/223億円 維持管理費：3.3億円/11億円	(残事業)/ (事業全体) 147億円/382億円 走行時間短縮便益：133億円/377億円 走行経費減少便益：14億円/3.4億円 交通事故減少便益：0.34億円/1.4億円	平成21年	
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施				
【残事業】	交通量変動：・B/C=4.7(交通量+10%) B/C=3.7(交通量-10%) 事業費変動：・B/C=3.8(事業費+10%) B/C=4.6(事業費-10%) 事業期間変動：・B/C=4.0(事業期間+20%) B/C=4.3(事業期間-20%)				
事業の効果等	<p>①円滑な交通の確保 ・拡幅整備により、渋滞交差点の解消が見込まれる。(Co2排出削減量:3,045t-co2/年)</p> <p>②交通事故の軽減による安全性の確保 ・死傷事故率が300件/億台キロを超える区間が存在し、拡幅による交通容量増加により安全性の向上が期待される。</p> <p>③安全・安心の確保 ・並行する東北縦貫自動車道では、冬期の気象状況などによる通行止めが発生しており、拡幅整備による交通容量増加により、幹線道路の信頼性向上が期待される。(通行止め実績:年平均16.7回)</p>				
関係する地方公共団体等の意見	福島県、一般国道4号4車線整備促進期成同盟会、郡山地域道路整備促進期成同盟会、白河国道4号4車線化整備促進活動期成会より早期整備の要望を受けている。 県知事の意見：再評価(案)については、異議ありません。なお、事業の実施時に更なるコスト縮減に努めてください。				
事業評価監視委員会の意見	対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	【執行済み額】 事業費：109億円(進捗率74%) うち用地費：61億円(進捗率78%) 平成19年3月までに、西郷村字原中から白河市金勝寺までの3.6km区間が供用している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見直し等	平成12年度の事業延伸(L=2.0km)以降、事業進捗に係る問題はない。白河 ^{しらかわ} 市金勝寺 ^{きんしょうじ} ～白河 ^{しらかわ} 市薄葉 ^{うすば} 間の1.6km区間について、早期の供用を目標に事業を推進する。				
施設の構造や工法の変更等	・白河 ^{しらかわ} 橋の橋梁形式の見直し(歩道幅員変更や耐候性鋼材の活用)や再生資材(アスファルト)の活用によるコスト縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

